

観察してみよう 町の移り変わり

この写真は、館山市内にあった川名写真館が、大正時代に城山から撮影したものです。
写っている内容を観察して、考えてみましょう。



写真をダウンロードして、タブレットなどで拡大してみよう！

- 問題 1 館山湾に2つの島が並んでいます。名前は何でしょうか？
また、現在の地図と比べて、どこが違うか考えてみましょう。

左は

ノ島

右は

ノ島

- 問題 2 城山下の道沿いにたくさんの家が並んでいます。建物の特徴を観察して、現在との違いを考えてみましょう。

- 問題 3 中央右に建つこの洋館は、館山町の役場です。
明治 22 年（1889）に成立した館山町が、現在の館山市になるまでの歴史を調べてみましょう。



こたえと解説

館山湾に浮かぶ島のうち、左が沖ノ島、右が高（鷹）ノ島です。大正 12 年（1923）の関東大震災によって土地が隆起し、高ノ島へ歩いて渡れるようになりました。その後、館山海軍航空隊の基地をつくるため埋め立てられ、高ノ島は陸の一部となります。この影響で、現在は沖ノ島へも歩いて渡れるようになっています。

城山下の道は、江戸時代初めに里見氏が城下町として整備し、商家が並ぶにぎやかな通りでした。写真でも茅葺きや瓦屋根の建物が建ち並んでいるようすが確認できます。

明治 22 年（1889）に館山町・上真倉村・下真倉村が合併して成立した館山町は、大正 3 年（1914）に豊津村を合併、さらに昭和 8 年（1933）には北条町と合併して館山北条町となりました。昭和 14 年（1939）には那古町・船形町と合併し、館山市が成立しました。昭和 29 年（1954）、近隣の西岬・神戸・富崎・豊房・館野・九重の 6 か村を合併し、現在の館山市が誕生しています。ちなみに、写真に写る館山町役場が建つのは、現在の館山信用金庫南支店の場所です。